

JIS

加硫ゴム及び熱可塑性ゴム— 耐液性の求め方 (追補 1)

JIS K 6258 : 2010

(JRMA)

JIS K 6258:2003 は平成 22 年 9 月 21 日付で改正されました。
この追補は、改正内容が記載されていますが、**JIS K 6258:2003** を
併読して用いて下さい。

平成 22 年 9 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この追補は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正したもので、これによって、**JIS K 6258:2003** は改正され、一部が置き換えられた。

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 肥 義 治	独立行政法人理化学研究所
(委員)	井 上 進	社団法人日本化学工業協会
	植 田 新 二	財団法人化学物質評価研究機構
	海 野 敦	独立行政法人住宅金融支援機構
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	香 山 茂	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 俊 哉	社団法人日本塗料工業会
	田 和 健 次	石油連盟
	橋 本 隆	社団法人自動車技術会（日野自動車株式会社）
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	松 永 孝 治	日本プラスチック工業連盟
	森 川 淳 子	東京工業大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 5.2.1 改正：平成 22.9.21

官 報 公 示：平成 22.9.21

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 土肥 義治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－耐液性の求め方 (追補 1)

Rubber, vulcanized or thermoplastic－Determination of the effect of liquids (Amendment 1)

JIS K 6258:2003 を、次のように改正する。

-
2. (引用規格) の JIS K 2249 の備考の ISO 3675:1976, Crude petroleum and liquid petroleum products－Laboratory determination of density－Hydrometer method を、ISO 3675:1976, Crude petroleum and liquid petroleum products－Laboratory determination of density or relative density－Hydrometer method に置き換える。
2. (引用規格) の
- JIS K 2265** 原油及び石油製品－引火点試験方法
- 備考 ISO 2592:1973, Petroleum products－Determination of flash and fire points－Cleveland open cup method からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。を、
- JIS K 2265-4** 引火点の求め方－第 4 部：クリーブランド開放法
- 備考 ISO 2592:2000, Determination of flash and fire points－Cleveland open cup method からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。に置き換える。
2. (引用規格) の JIS K 6200 ゴム用語を、JIS K 6200 ゴム－用語に置き換える。
2. (引用規格) の
- JIS K 6250** ゴム－物理試験方法通則
- 備考 ISO 471:1995, Rubber－Temperatures, humidities and times for conditioning and testing 及び ISO 4661-1:1993, Rubber, vulcanized or thermoplastic－Preparation of samples and test pieces－Part 1:Physical tests からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。を、
- JIS K 6250** ゴム－物理試験方法通則
- 備考 ISO 23529, Rubber－General procedures for preparing and conditioning test pieces for physical test methods からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。に置き換える。
2. (引用規格) の JIS K 6251 加硫ゴムの引張試験方法を、JIS K 6251 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引張特性の求め方に置き換える。